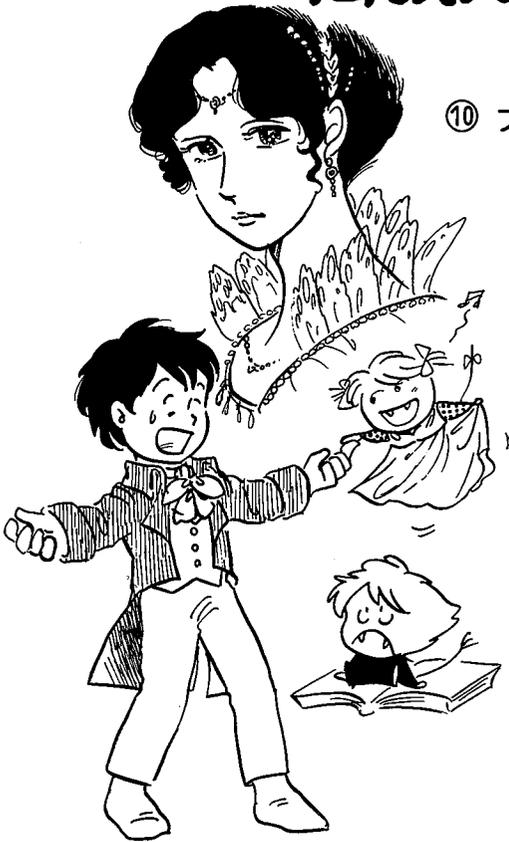


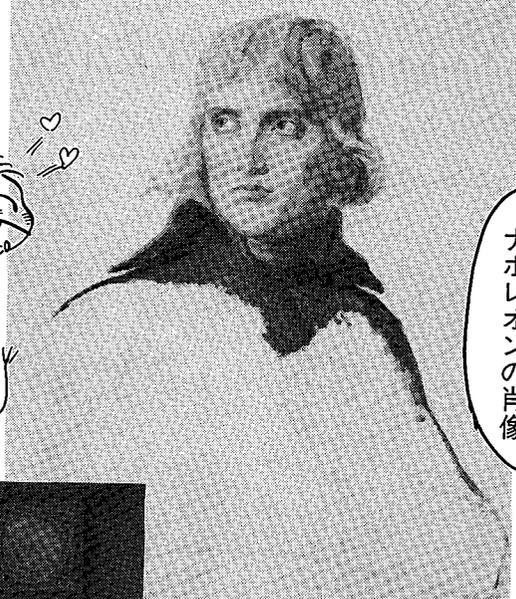
# 知と心の 仏教入門

⑩ ナポレオンの生涯  
(その2)



伊藤 礼子

これは二十歳頃の  
ナポレオンの肖像



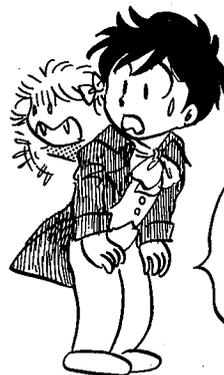
きやつ  
なかなか  
精悍ねっ



こっちは  
皇帝になって  
からのもの。  
四十歳くらい



ずいぶん  
ふけたね



カンロクが  
ついたというか  
.....

権力っていうのは  
大きいほど  
人を消耗させる  
からね...

フーン、でも  
その権力を得るのが  
望みだったんだから...  
ナポレオンは満足  
したかな？

まあ  
見て  
みましょ



三十五歳で皇帝の座  
についたナポレオン  
は権力の美酒に  
酔っていた



三十六歳、  
アウステルリッツの会戦で  
ロシア帝国を破る。  
ナポレオン最大の勝利で  
あった

兵士諸君！  
私は諸君に  
満足だ！

諸君は驚の軍旗  
を不滅の栄光を  
もって飾ったのだ！



アウステルリッツの  
戦いに参加した君達を  
国民は勇士と  
讃えるだろう！

しかしいくら実力があってもヨーロッパの皇帝や王から見ればナポレオンは成り上がり者にすぎない

ナポレオンめ、勝負はこれからだ

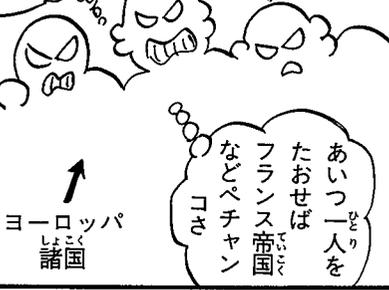
ロシア  
皇帝  
アレクサンドル  
一世



今に見ておれ

あいつ一人をたおせばフランス帝国などベチヤン

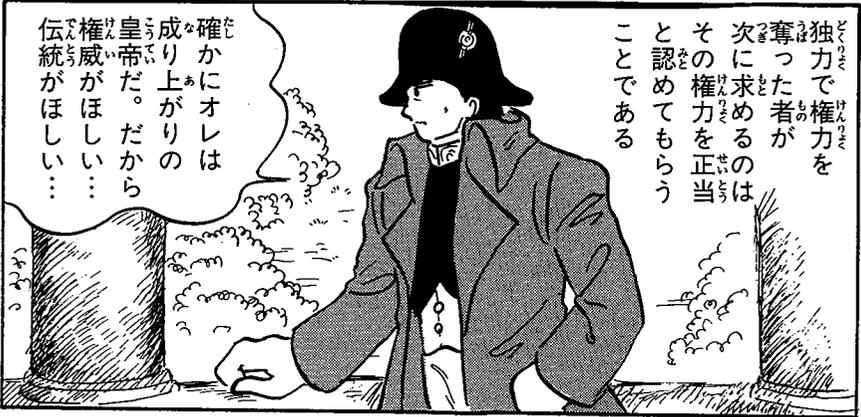
この馬の骨とも知れぬ男に皇帝を名のらせておけるか



ヨーロッパ諸国

独力で権力を奪った者が次に求めるはその権力を正当と認めてもらうことである

確かにオレは成り上がりの皇帝だ。だから権威がほしい。伝統がほしい。



ウム、支配した国々の王にボナパルト家の兄弟をおいて王家のようになろう

ジョセフ  
兄さんは  
スペイン王

ルイは  
オランダ王





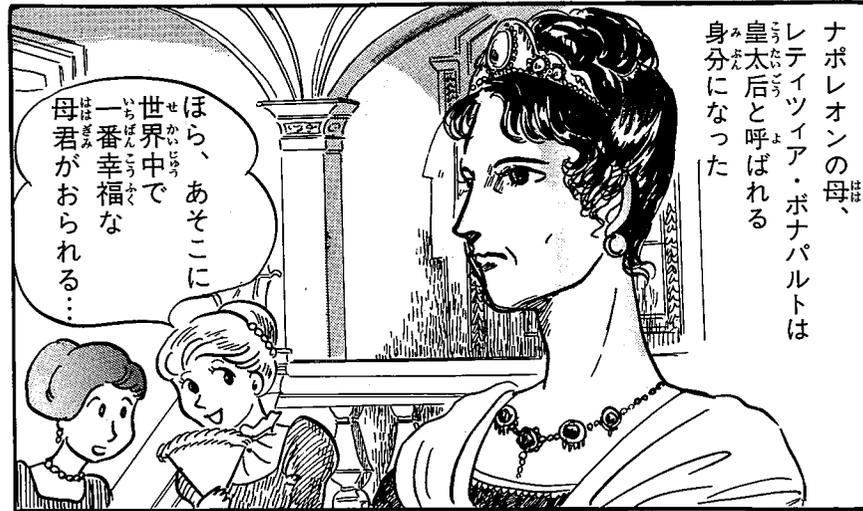
やった！  
ラッキー！

カロリー又か。  
お前の夫、  
ミュラには  
ナポリをやるか



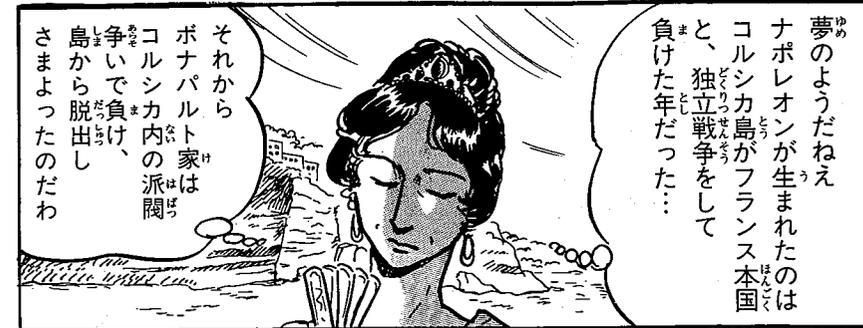
ジェロームは  
ヴェスト  
ファールン  
王…と

ナポレオン兄さん  
アタシの旦那様  
にも何かちょうだい



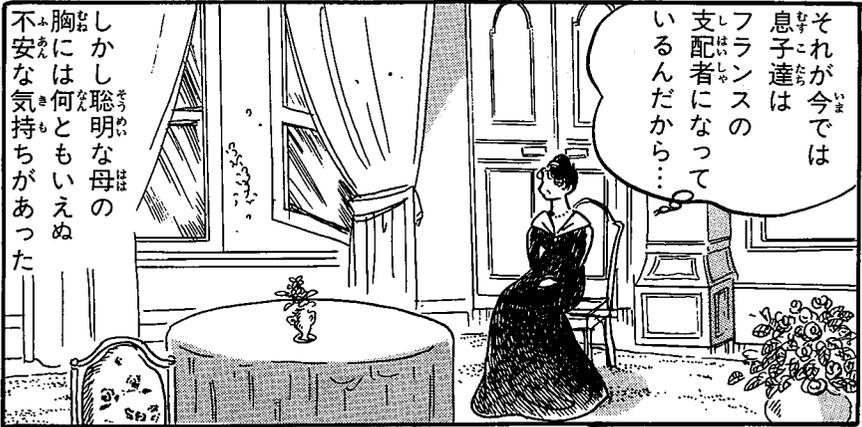
ナポレオンの母、  
レティツィア・ボナパルトは  
皇太后と呼ばれる  
身分になった

ほら、あそこに  
世界中で  
一番幸福な  
母君がおられる…



夢のようだねえ  
ナポレオンが生まれたのは  
コルシカ島がフランス本國  
と、独立戦争をして  
負けた年だった…

それから  
ボナパルト家は  
コルシカ内の派閥  
争いで負け、  
島から脱出し  
さまよったのだけ



それが今では  
息子達は  
フランスの  
支配者になって  
いるんだから……

しかし聡明な母の  
胸には何ともいえぬ  
不安な気持ちがあった



……  
ただ……

本当に  
こんな幸運が  
長続きするかしら  
……!?



元気が  
ないのね  
ジョセフィーヌ  
さま

ちよつと故郷のことを  
思い出していたのよ



もうひとつ  
ナポレオンの帝国に  
必要なのは  
皇位の継承者  
であった

ところが皇后ジョセフ  
イーヌは今だに子供に  
恵まれない

ジョセフィーヌ  
ナポレオンに最も  
愛された女性

ジョセフィーヌ  
さまの故郷って  
どこなの？

西インドの  
マルティニックという  
小さな島よ…

十六の年に  
フランスに渡り  
ポーアルネ子爵に  
嫁いだ

結婚は  
幸福でなかった

夫は私と二人の  
子供をおいて  
浮気ばかり  
していたわ

貴族を  
殺せ！

やがてフランス  
革命がおき

ギロチンに  
かけろ！





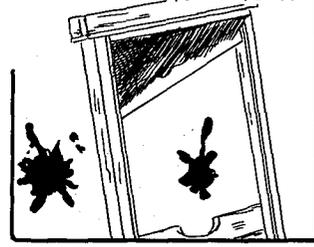
ボーアルネ子爵はギロチンで処刑された。ロベスピエールの恐怖政治の時代だった

しかしボーアルネの死後わずか四日目にロベスピエールはクーデターでたおれ総裁バラスが新政府をつくった

でもこれからどうやって生きてゆけばいいのかしら...



ジヨセフィーヌ母子はあぶないところでギロチンをのがれたのだ





目鼻だちの美しさと  
もって生まれた優雅な  
ものごし、その魅力は  
サロンの中ではけっして  
若くない年齢にも  
かかわらず  
ジョセフィーヌを  
輝かせていた



そんなとき  
ナポレオンに  
出会ったのである



彼はタイプじゃないわ…  
それに文無しの  
軍人よ!

まあ：  
まさか!



ジョセフィーヌ、  
ボナパルト將軍の  
プロポーズを  
受けるのですか

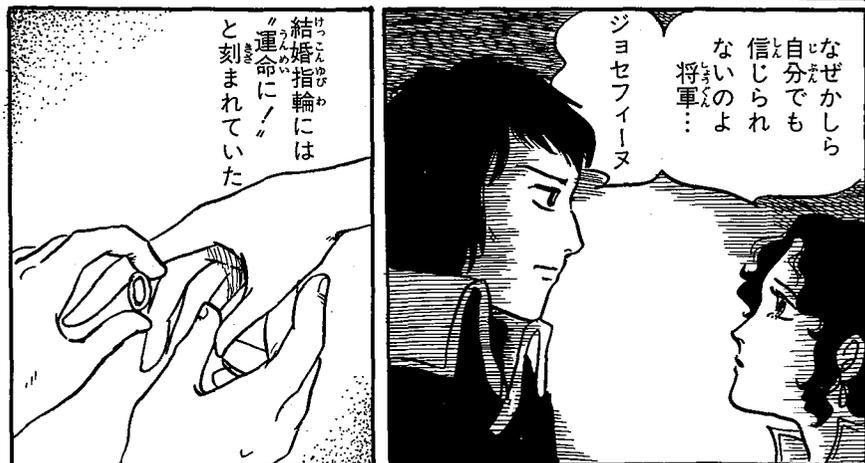


私の望みは  
ぜいたくに  
気ままに  
暮らすことよ

結婚なんか  
もうこりこり

ところが  
結婚しちゃっ  
たんでしょ

そうなの



なぜかしら  
自分でも  
信じられ  
ないのよ  
將軍…

ジョセフィーヌ

結婚指輪には  
「運命に」  
と刻まれていた



浮気な妻は  
夫がイタリア、エジプトへ  
遠征中をいいことに  
思うままに  
遊び暮らしていた

ナポレオンの  
まめなこと！  
戦地からよく  
こんなに  
ラブレターを  
よこす気にな  
るわね





あ：  
どうしましょう  
そんなに怒るなんて  
思わなかったのよ



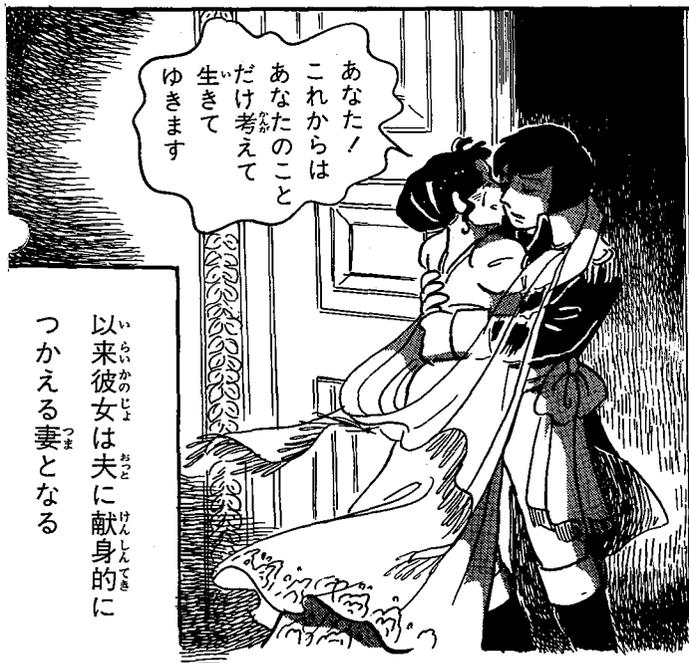
エジプトから帰った  
ナポレオンはジョセフィーヌに  
離婚を言いわたし  
書斎にこもって  
しまった

ナポレオン！



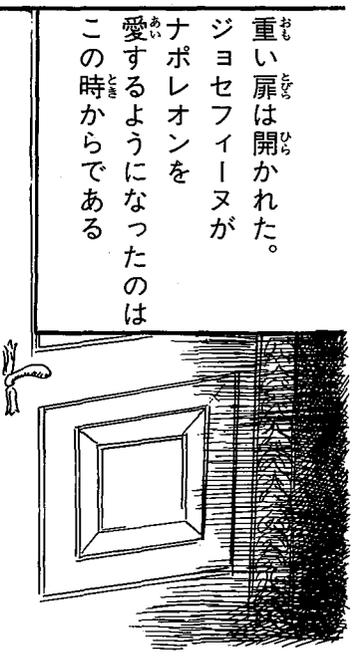
お、おねがい  
あけて

私がばかでした！  
あなたの愛に  
甘えていたんです。  
許してナポレオン



あなた！  
これからは  
あなたのこと  
だけ考えて  
生きて  
ゆきます

以来彼女は夫に献身的に  
つかえる妻となる

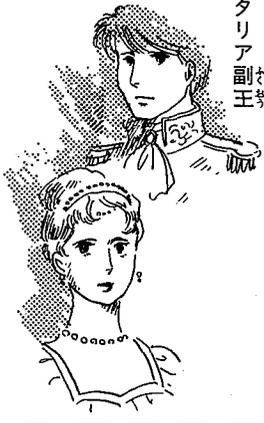


重い扉は開かれた。  
ジョセフィーヌが  
ナポレオンを  
愛するようになったのは  
この時からである

やがて  
第一執政夫人として  
チュイリユリ宮殿と  
マルメゾンの館に  
住むことになり



連れ子ウジェーヌは  
イタリア副王



同じくオルタンスはルイ・ボナパルトと  
結婚してオランダ女王となった

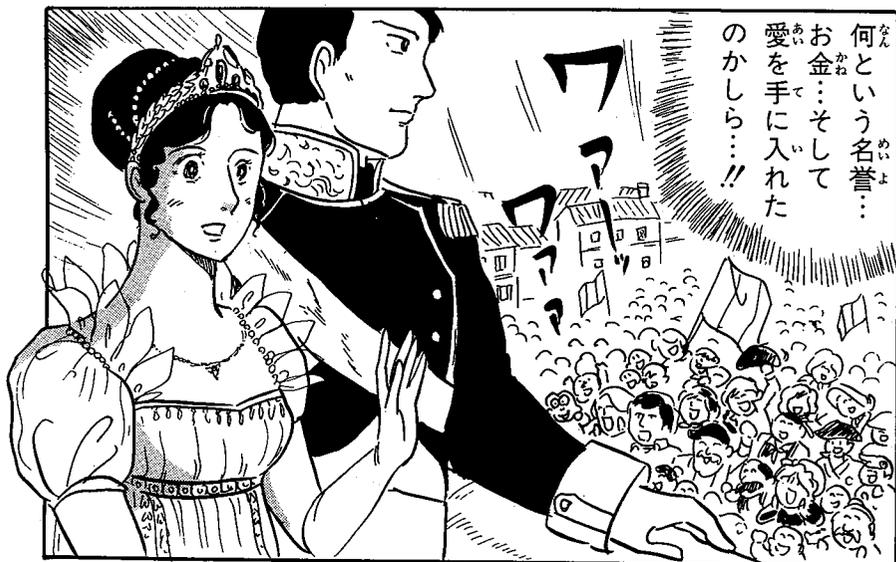
そして夫の  
手によって  
彼女の額の上に  
皇后の冠が  
置かれた



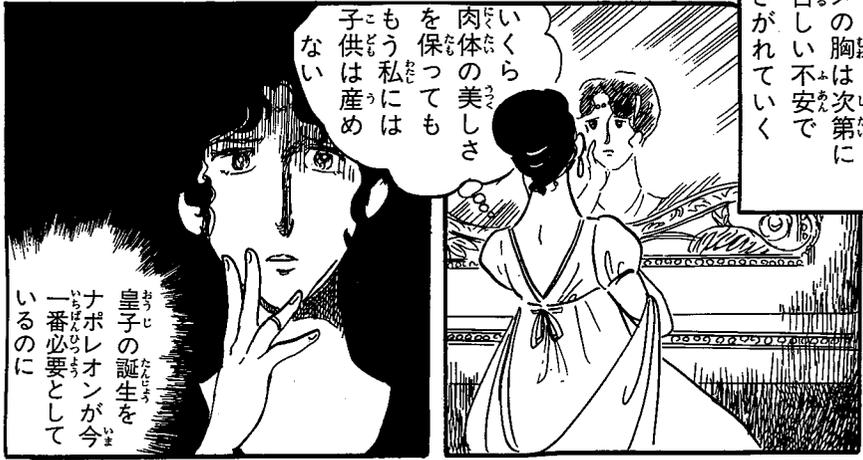
皇后  
ジョセフィーヌの  
誕生である



ナポレオン  
バンザイ！  
皇后  
ジョセフィーヌ  
バンザイ

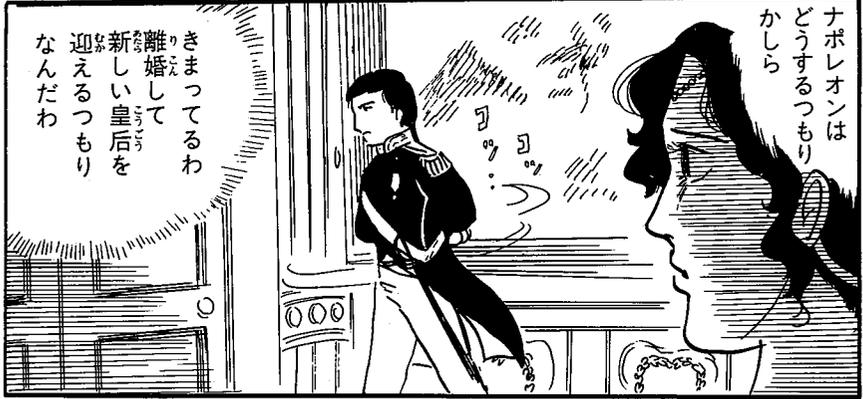


しかし、あとつぎの産めないジョセフイヌの胸は次第に重苦しい不安でふさがれていく



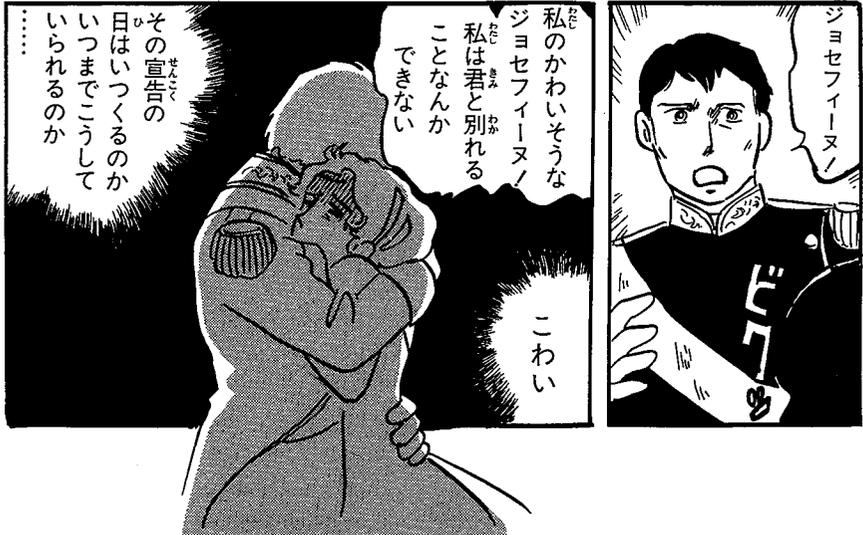
いくら肉体の美しさを保つてももう私には子供は産めない

皇子の誕生をナポレオンが今一番必要としているのに



ナポレオンはどうするつもりかしら

きまつてるわ離婚して新しい皇后を迎えるつもりなんだわ



ジョセフイヌノ私のかわいそうなジョセフイヌノ私は君と別れることなんかできない

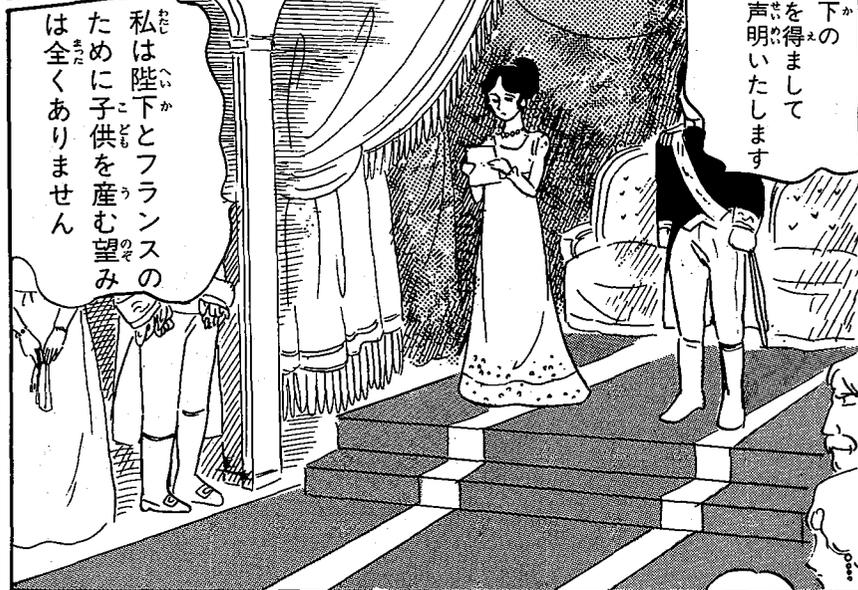
こわい

その宣告の日はいつくるのかいつまでこうしていられるのか……



そして  
ついにその  
日は来た

ジョセフィーヌは  
皇后の位を  
退く文書  
読むことになった



皇帝陛下の  
お許しを得まして  
ここに声明いたします

私は陛下とフランスの  
ために子供を産む望み  
は全くありません



声明するもので  
あります

皇后の位について  
四年後、ジョセフィーヌはナポレオンの  
もとを去ることに



従つてここに  
皇后の位を  
放棄...する  
ことを...

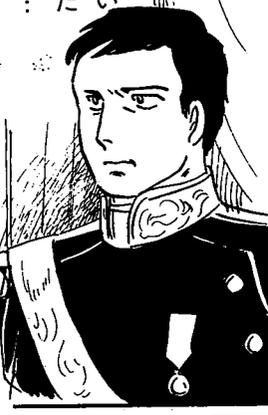


今は何と  
苦しい思いで  
思い出さねば  
ならないことか

あの強引な  
プロポーズも  
私が愚かにも  
読み流した  
イタリアから  
の手紙も

愛も  
栄華も  
こんなにもろい  
ものだった  
とは…

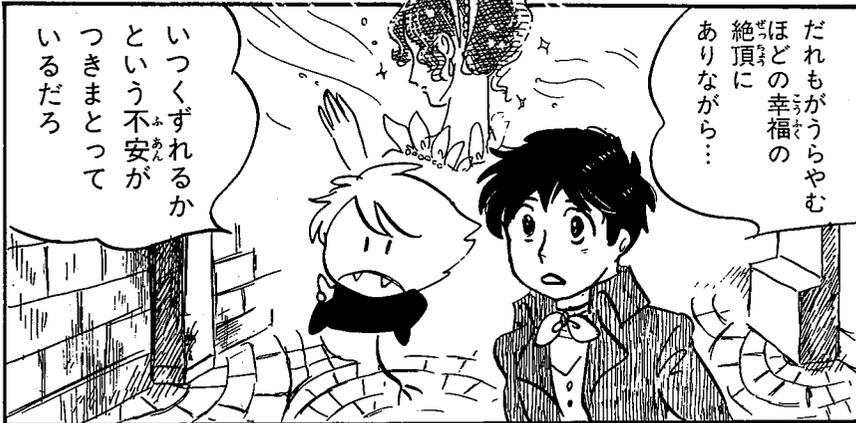
さようなら…皇后として  
暮らしたチユイリユリ宮殿  
マルメゾンの館…



そんなんっ



ジョセフィーヌはパリから  
遠く離れた住居を転々とし  
ナポレオンの没落とほぼ同時に  
その生涯を閉じるのである



一八一〇年  
 ナポレオンは  
 オーストリア皇帝の娘  
 マリー・ルイズを  
 むかえた



民衆の人気も  
 社交手腕も、  
 ジョセフィーヌに遠く  
 およばなかったが

翌年  
 待望の皇太子が  
 生まれ、ナポレオン  
 帝国は最盛期を  
 むかえたかに見えた



ジョセフィーヌの  
 栄光の座はたしかに  
 短かったけど

ナポレオンの  
 権力も実は  
 これから  
 急速にかたむく  
 ことになるんだ

